

都市の 3D デジタルマップの実装に向けた産学官ワーキンググループ（第 3 回） 議事要旨

日時：令和 3 年 2 月 8 日（月） 13 時 30 分～15 時 30 分

場所：オンライン開催

<WGでの主な意見>

- ・ CityGML を前提とする場合、コンバーターなど有償ツールに依存する部分も出てくる。データ活用をしやすい環境も必要では。
- ・最終的にまとめていくにあたり、ユースケースを明確にしていく必要。ユースケースにより使える、使えないが出てくる。ユースケースは、アンケート・ヒアリング結果もとりまとめにうまく反映して欲しい。
- ・ 3D デジタルマップをどの位メンテナンスしていくか、費用面や使い勝手（更新しなければ使い物にならない等）も踏まえて、とりまとめていく必要。
- ・ 3D デジタルマップの社会的な効果を計る方法をどうするか。三次元空間を体験した時間など、3D 空間ならではの数値化やデータの取り方があるのではないか。
- ・官民の領域や仕様のレベル等、都の予算規模での実現可能性も踏まえた現実的なとりまとめをするべき。
- ・区市町村との連携についても、とりまとめに反映いただきたい。

<議論のまとめ>

- ・第 4 回 WG では、本日ご議論いただいた内容も踏まえ、データ仕様、整備・更新スキームを含む 3D デジタルマップの仕様を要件定義書案として提示する。
- ・官民連携の形や費用面なども踏まえ、固めきるところと今後に向けて検討していくことを整理していく。